



#1 The City（活況を維持するロンドン中心部）

通称ウォーカー・トーキー

35 階～最上 37 階にまたがるガラス張りの
展望台があり、ぐらりと一周できる

3 週間前からの予約で入場無料



スカイガーデン

眼下にタワーブリッジが見える



シティの近代的なビルの先駆けとなるロイズ・オブ・ロンドン（左）

イングランド銀行総裁で金融安定理事会（FSB）議長だったマーク・カーニー氏が2015年に行った、歴史の転換点になったとも言われる講演「ホライゾンの悲劇を打ち破る - 気候変動と金融の安定」（Breaking the Tragedy of the Horizon - climate change and financial stability）はここロイズ保険組合で行われた。

右の写真はこの撮影場所に立っていた案内板。半径徒歩5分圏内に、スカイガーデンのあるウォーキー・トーキーや、ガーキン（きゅうりのピクルス）、道路を挟んで右隣のチーズグレーター（チーズおろし器）等さまざまな愛称のビルが密集する。写真右奥に最近竣工したエイト・ビショップスゲート、その隣りが2019年に竣工したシティで最も高い22 ビショップスゲート。

イギリスのEU離脱で懸念されたシティから欧州大陸側への企業の大量流出は現段階では起きておらず、金融機関を中心にシティは活況を維持している。

コロナ後のロンドンで起きていること

脱炭素型開発でないと投資が集まらない

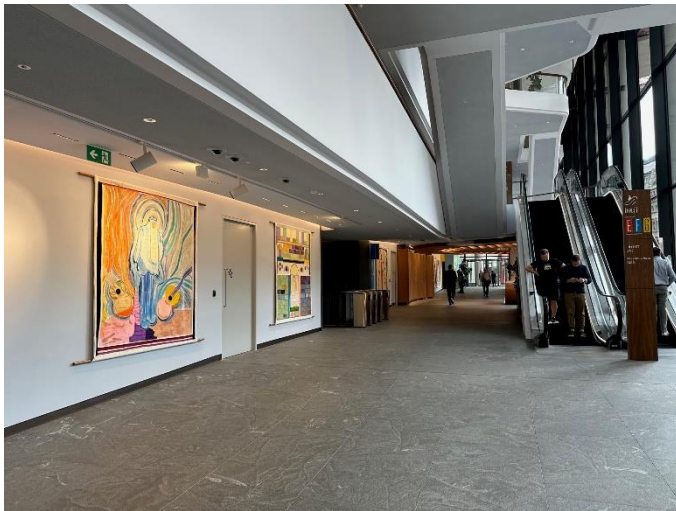
入居者も集まらない

従って開発における脱炭素は当然になってきている

22 ビショップスゲート (22bishopsgate)

ヘロンタワー (110 ビショップスゲート) を抜いてシティで一番高い

62 階建て高さ 278m 19 万 5 千㎡ 展望台「[Horizon22](#)」は 9 月 27 日にオープン



ゼロカーボン実現のために行われた行政指導

- ・ 1000 ㎡以上の大開発は建築基準で 40%の CO2 削減
- ・ デザイン、工事、運用、除却までの段階で、サステナビリティ基準に合致
- ・ エネルギーの効率性（目標に達しない場合はオフセットを行う）

開発許可における合意事項

- ・ 無料展望台の設置
- ・ 1300 台の駐輪場（駐車場は原則不許可）

BREEAM excellent を達成

エイト・ビショップスゲート（8 Bishopsgate）



三菱地所が手掛けた再開発ビル

今年（2023 年）6 月に竣工

51 階建て高さ約 204m 8 万 5 千㎡



22 ビショップスゲートやチーズグレーターに隣接

環境配慮や Well-being への取り組み

- ・ 建設業界におけるエネルギーと炭素利用に関する目標「RIBA 2030 Challenge」に準拠
- ・ 環境性能に優れたガラスファサードを外装全面に採用
- ・ 英国発の建築物環境性能評価である BREEAM Outstanding 認証予定
- ・ 建築物の稼働中のエネルギー効率を示す EPC Rating で最高評価の A を認証予定
- ・ 駐車場は設けず、代わりに大規模な駐輪場、シャワー・ロッカーを設置
- ・ 最上階に展望ギャラリーを設け一般公開予定

セントポール大聖堂周辺



Warwick Court

三菱地所ロンドンが手掛けた大規模リノベーション

本改修計画の特徴

- ・ 6階及び最上階にセントポール寺院を眺望するテラスを新設
- ・ 駐輪場（280台）、シャワー・ロッカーの設置
- ・ LGBT・男女共用対応可能トイレの設置
- ・ BREEAM excellent 認証取得予定



工事現場によくみたらキリンが2頭(笑)

Pret A Manger

ロンドン滞在中もっともよく利用したカフェチェーン店



アーモンド・クロワッサン

杏仁豆腐の味がする



I have never seen Pret A Manger in Japan, but it is everywhere in London.

In Battersea Power Station, Starbucks and Pret were facing each other. Pret is rare in Japan, so I chose Pret without hesitation.